

# 環境調和型製鉄プロセス技術の開発事業

平成30年度予算額 **30.0億円** (21.0億円)

## 事業の内容

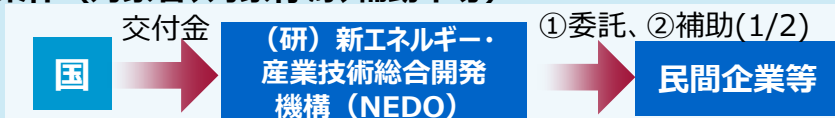
### 事業目的・概要

- 平成27年7月に策定した「長期エネルギー需給見通し」の達成・実現のために、中長期的な観点から鉄鋼業の製鉄プロセスにおける大幅なCO<sub>2</sub>排出削減技術、省エネルギー技術の開発を行います。
- 世界に先駆けたCO<sub>2</sub>排出削減技術として、コークス製造時に発生する副生ガスに含まれる水素を増幅し、一部コークスの代替として当該水素を用いて鉄鉱石を還元する技術の開発等を行います (① 水素還元活用製鉄プロセス技術の開発事業 (COURSE50))。
- 世界に先駆けた省エネルギー技術として、低品位の石炭と低品位の鉄鉱石の混合成型・乾留により生成されるフェロコークス中に含まれる金属鉄を触媒とし、高炉内の鉄鉱石の還元を低温化・高効率化する技術の開発を行います (②フェロコークス活用製鉄プロセス技術の開発事業)。

### 成果目標

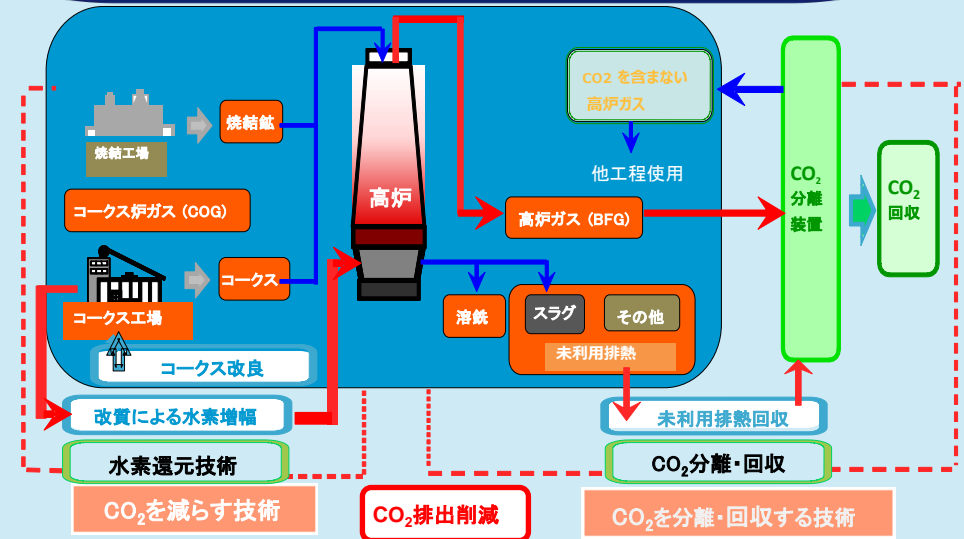
- 水素還元活用製鉄プロセス技術の開発事業 (COURSE50) は、平成42年頃に実機 (1基) において、製鉄所のCO<sub>2</sub>排出量を約3割削減する技術の確立を目指します。また、フェロコークス活用製鉄プロセス技術の開発事業は、平成34年頃までに実機 (1基) において、製鉄プロセスのエネルギー消費量の約10%削減する技術の確立を目指します。

### 条件 (対象者、対象行為、補助率等)



## 事業イメージ

### ① 水素還元活用製鉄プロセス技術の開発事業 (COURSE50)



### ② フェロコークス活用製鉄プロセス技術の開発事業

